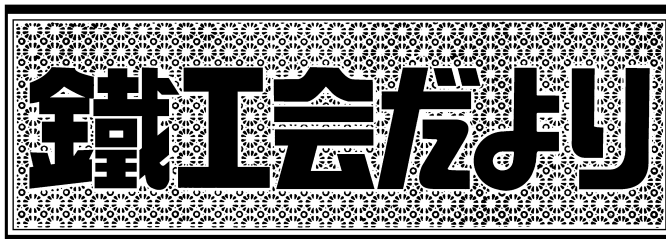


相互扶助
団 結
共存共栄



発行 協同組合 島根県鐵工会

〒690-8567 松江市西津田一丁目 9 番50号

☎ (松江) 0852

☐鉄鋼営業部 鉄鋼 24-2530

建材 24-2531

板金 24-2528

☐工機営業部 24-2529

☐総務部 24-2156

☐会員サポート推進室 24-2157

☐内陸倉庫 24-2155

☐中部営業所

〒 699-0406 松江市宍道町佐々布 868-54

☎ 0852-66-3010

☐出雲営業所

〒 693-0017 出雲市枝大津町 21-3

☎ 0853-22-9288

☐浜田営業所

〒 697-0006 浜田市中府町 327-55

☎ 0855-22-1888



松江の「ものづくり」を 次のステージに

松江市長 上 定 昭 仁

このたび貴重な寄稿の機会をいただきまして、ありがとうございます。鐵工会の皆様には、日頃より市政運営に温かいご支援をいただいておりますことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、皆様ご承知の通り、松江市は古くから「ものづくり」が盛んな地域であり、市内の企業団地や主要メーカーの本社周辺に製造業種の有望企業が集積し、地域経済を支えています。

本市では、産業の裾野が広く雇用の吸収効果も高い「ものづくり産業」を後押しすべく、市独自の製造業支援プログラムである「ものづくりアクションプラン」を策定し、2013年度からこれまでに、のべ1,246社に対して7億4,190万円の財政支援を実施してきました。この間、本市担当が直接訪問した企業数はのべ11,697社、相談件数は8,589件にのぼります。

しかしながら、一昨年来のコロナ禍によって、本市だけでなく、島根県内全域の企業にも甚大な影響が生じ、事業環境、経営課題、支援ニーズは大きく変化しています。従業員の方々が感染やPCR検査による休業を余儀なくされ、必要な人的リソースを確保できない事態や、半導体、樹脂、銅線などの部材発注先が慢性的な在庫不足に陥り、納期が大幅に遅れるといった問題が顕在化しています。その難局に拍車をかけているのが、

ロシア軍のウクライナ侵攻に伴う円安や原材料価格の高騰であり、これらが相まって地域経済に暗い影を落としています。

本市では、令和3年4月から7月にかけて、市内企業を対象にアンケート（送付先338事業所中276事業所が回答）とヒアリング（30社）による調査を実施して、ものづくり産業の実情を把握したうえで、昨今の経済状況を踏まえ、第4期目となる新たな「ものづくりアクションプラン」を今年3月に策定しました。アンケートなどを通じて浮かび上がった、生産性向上、人材確保・育成、コロナ禍における新市場開拓・販路拡大、新ビジネス創出、取引先の分散化などの課題を克服できる、「変化に強い企業づくり」を目標に掲げています。

その達成を目指して、「製造業支援専門員」を引き続き3名配置して、きめ細やかな企業訪問を行うとともに、松江の地域資源や強みを生かした、起業・創業・事業承継を支援する「MATSUE 起業エコシステム」の仕組みを構築することとしました。

また、受注拡大・新製品開発を目的とした設備・ソフトウェアの導入、AIやIoTの利用促進、Webを活用した販路開拓、生産性向上につながる現場改善、製品の高付加価値化、競争力強化に向けた人材確保・育成などの取組みに対する補助制度の新設、あるいは補助率や上限額の拡充を図りました。

加えて、「IT 活用アドバイザー派遣制度」を創設し、本市に登録される IT 専門家を各企業に派遣し、IT 導入に向けたロードマップの作成や、効果的な IT 機器の選定などについて、アドバイスを提供することとしています。

さらには、「ものづくりアクションプラン」の実行に合わせて、アフターコロナを見据えた、ものづくり企業の成長機会を創出するため、海外とりわけインド・台湾との積極的な経済交流を、私自身のトップセールスを含め行ってまいります。

2015年より中海・宍道湖・大山圏域市長会ならびに圏域の経済界と提携関係にあるインド南部・ケララ州との交流を深化し、環境・農業・医療分野などにおける協働の可能性を追求します。また、首都圏に進出しているインド企業の国内ワーケーション誘致や、日印の大学間の連携についても検討を進める予定です。

台湾・台北市に関しては、これまで牡丹の輸出などを通じて良好な関係を構築・維持してきましたが、物産や観光面のみならず、IT を始めとするものづくり分野での経済交流においても連携を強化すべく、圏域市長会と経済界を主体とした「交流促進覚書」の締結に向けて調整を図ります。

コロナ禍を経験した私たちは、コロナ前の世界に戻すことを目標とするのではなく、この難局を克服して一段進化した・強くなったと自覚できる地域社会を築くため、次のステージに向かって着実に歩みを進めていかななくてはなりません。本市では、前例や既成概念にとらわれず、「変化に強い松江市」となるべく経済界と足並みを揃えて取り組んでまいりますので、鐵工会の皆様には、引き続きご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

組合員異動

○代表者変更

5.6 株式会社 高橋産業（松江市宍道町佐々布 868 番地 16）代表者が、高橋 陽介 氏から高橋 修平 氏へ替わられました。

5.20 有限会社 伊藤製作所（松江市東出雲町揖屋 704 番地 4）代表者が、伊藤 勉 氏から伊藤 潤 氏へ替わられました。

○譲渡

4.14 神門板金（松江市浜乃木七丁目 16 番地 21）代表者が、神門 俊功 氏から神門 稔 氏（松江市八雲町東岩坂 373 番地 1）へ出資持分が譲渡されました。

5.2 中島板金店（松江市東津田町 351 番地 5）代表者が、中島 要 氏から中島 要一 氏へ出資持分が譲渡されました。

職員人事異動

○昇任

（令和 4 年 5 月 2 日付）

佐田尾 太一	工機営業部主任
石倉 義朗	鉄鋼営業部主任
門脇 由莉	営業部業務グループ主任

○異動

（令和 4 年 6 月 1 日付）

本田 将義 鉄鋼営業部 建材（工機営業部より）

○退職

（令和 4 年 5 月 31 日付）

加藤 周 商品管理部

（令和 4 年 6 月 30 日付）

谷山 太一 商品管理部

組合員様の状況・動向調査アンケート実施のご報告

6月の始めに「組合員様の状況・動向調査アンケート」を実施させていただきました。

お忙しい中、回答してくださいました組合員の皆様、ご協力ありがとうございました。

現在の複雑な世界情勢の中、原油、電気料金ほか様々な製品や原材料が高騰し、過去に例を見ない急激な鋼材価格の上昇が続いております。組合員企業

の皆様の実情を把握し、鐵工会としての仕入れ活動の参考にするとともに、業界団体として県内企業の実情を行政に認識頂くための資料として活用してまいります。

アンケートの集計結果につきましては、鐵工会ホームページに掲載させていただいておりますので、ご覧ください。ありがとうございました。

右のQRコードを読み込むか
下記のアドレスにアクセス
<https://tekkokai.jp>



【問合せ先】

協同組合島根県鐵工会 総務部

TEL : 0852-24-2156 FAX : 0852-24-2535

Email : soumu@tekkokai.or.jp

2022年度 安全大会開催のご報告

当組合の創立記念日である6月21日(火)に鐵工会館に於いて、2022年度安全大会が行われました。今年の全国安全週間のスローガン「安全は急がず焦らず怠らず」の下、島根県に於ける労働災害の発生状況や事故原因を確認し、業務改善の基礎として

3S（整理・整頓・清掃）及び 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の各項目を実際の取組事例を見ながら確認していきしました。

最後に大会宣言を全員で唱和し、労働災害ゼロの安全職場を目指すことを誓いました。



協同組合島根県鐵工会【第19回親睦ゴルフ大会開催】

令和4年5月21日(土)に組合員企業との交流の場として、出雲空港カントリー倶楽部にて第19回親睦ゴルフ大会が開催されました。当日は好天

に恵まれ、参加された皆様も日ごろの練習の成果を十分に発揮され、交流を深められました。

令和4年度 永年勤続表彰

令和4年度永年勤続表彰（島根県中小企業団体中央会主催）が行なわれ、当組合からも永年勤続従業員として右記の1名が表彰状並びに記念品を受賞しました。

記

島根県中小企業団体中央会 会長表彰

山根 俊夫（理事・総務部長） 30年以上勤続

毎週水曜日は「ノー残業デー」

当組合では、業務の効率化、法遵守の推進及び、職員のワークライフバランス向上を目的として、毎週水曜日は午後5時30分に業務終了となります。

取引先様におかれましては、電話対応・来訪等でご不便をおかけ致しますが、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

鋼 材 市 況

(7月3日現在)

■ 概況 ■

国内の景気につきましては、6月8日に発表された2022年1～3月期の実質 GDP 成長率（2次速報）は、前期比△0.1%（年率換算△0.5%）と1次速報より上方修正されたものの、年明け後のオミクロン株の急速な感染拡大の影響を受け2四半期ぶりのマイナス成長となりました。2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、各国がロシアに対して経済制裁をする中、原油等の価格が高騰し、さらにゼロコロナ政策を続ける中国が3月末より2ヶ月強の上海ロックダウンを行ったことにより、部品調達難が発生するなど、日本経済に大きなマイナスの影響が出ています。4～6月期の景況も厳しい数値となっていることが予想されます。

こういった状況の中、円安も進んでおり、原材料を輸入に依存する国内鉄鋼メーカーはコスト負担がさらに大きくなり、鋼材価格については春以降も値上がり基調が続いています。この状況は当面変わらないものと思われ、建設業、製造業等の区別なく価格の転嫁が喫緊の課題となっています。コロナ禍を経て、鉄を取り巻く環境は大きく変化し、カーボンニュートラルを実現する世界へ移行する中、鋼材価格はそれ以前とは全くステージが変わってしまいました。流れとしては、コロナ禍以前に戻ることは考えにくく、各企業の新たな考え方、進む方向性も試される事態となっています。日本においては、先進国の中ではコロナ禍からの回復が遅れており、そういった中でのインフレという厳しい状況ではありますが、政府もその対策には力を入れようと動いており、その成果が結果として表れることを期待しながら、今年も折り返しの7月を迎えています。

■ 鋼板 ■（強含み）

需要環境は、建機、産機などの製造業分野が総じて底堅いものの、半導体を含む部品の不足、調達難がこの分野にも及びつつあり、一部メーカーでは機種によって生産調整を余儀なくされ、先行きに不安感が漂い始めています。主力の建築・建材関連は、都市部の大型案件に動きが出始めていますが、今なお相対的には端境期状態にあり、目立った案件の着工には至っていない状況です。各業種の荷動きが想定以上に思わしくなく価格面の問題で様子見ムードがでたことも要因となり、市中在庫はタイト感がなく、月並みの水準か在庫過多の状況となっています。

国内大手自動車メーカーは、新車販売台数、国内生産台数ともに減少を昨年より連続で発表しており、世界的な半導体不足に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う中国上海のロックダウンによる部品調達困難によるものとみられます。

海外では中国のロックダウンによる内需、物流が振るわない為、中国国内で“だぶついた”鋼材を輸出する動きが強まっており、欧州ではロシアやウクライナからの鉄鋼調達が困難になるとみられた一時的な買い付けの動きも落ち着き、需要の減退が鮮明となっています。

このような海外情勢のもと国内高炉メーカーは原料となる鉄鉱石、原料炭のコスト上昇の影響による価格転嫁の為、値上げ基調を強めています。また国内厚板各社のミル修繕

計画が重なる予定もあり、需給タイト化となる見込みです。需給環境、海外市況に先行きを不透明にする要因が多くある為、今後も注視していく必要がありますが、引き続き強含みで推移するものと思われます。

■ 薄板 ■（強含み）

薄板の需要環境は、上海ロックダウンの影響などを受け、盛り上がり欠ける状況が続いております。6月初旬にロックダウンが解除され、電子部品や樹脂などにおいて、不足解消が少しずつ進むものと思われますが、慢性的な入手難が続く半導体関連の影響は先が見えない状況であり、当面の課題となると思われます。また、建築関連においても下期に向けて案件数が増えてきてはいるものの、鋼材価格の高騰などで見直しや延期の声も聞かれており、需要環境が本当に整うのか、先行き不透明な状況が続いています。

一方で、国内の各製鋼メーカーは、2022年に入り次々と大幅値上げを打ち出しています。ロシア・ウクライナ情勢による原料高騰・為替変動は「非常事態」ともいえる状況であり、大手紐付き商談においても大幅な値上げを要求しています。原料価格のコストアップは、今年に入って4万円を超える水準にまで到達しているものと想定され、主原料である鉄鉱石・石炭の価格は、豪州などの天候不順による供給ネックも加わり高騰が継続。過去に例を見ない価格まで上昇し高止まりしています。加えて、亜鉛・合金・原油等の市況原料価格もロシア・ウクライナ影響を受け高騰、物流コスト、各副資材、電力、ガスなども、製造現場直撃のコスト上昇となっており、価格上昇の天井は見えません。

国内の鉄鋼メーカーに課せられている「カーボンニュートラル」への対応も急務であり、大手紐付き価格交渉が大幅値上げで決着すれば、すでに先行して値上げを行っている流通・コイルセンターや二次加工メーカーから最終需要家への価格転嫁は今後一層加速していくものと思われます。薄板は当面の間、強含みで推移するものと思われます。

■ H 形鋼、一般形鋼 ■（強含み横這い）

電炉 H 形鋼メーカー大手である東京製鐵は、2022年7月契約の製品販売価格について前月比据え置くと発表しました。大型案件を中心に建材需要は堅調で、中小案件に緩慢さはあるものの7月以降は電炉メーカーの夏季減産で需給の引き締まりが予想されます。

高炉メーカーである日本製鐵の建材製品を扱う商社・特約店などで構成される“ときわ会”がまとめた5月末の H 形鋼全国流通在庫は前月末比3,200トン、1.7%減の18万8,300トンと3ヶ月連続で減少しております。在庫量としては適正水準にあるものの、サイズによっては歯抜けが生じるなど需給のタイト感が強まりつつあります。

ロシアによるウクライナ侵攻以降、スクラップを含む鉄鋼原料、半製品を含む鉄鋼製品の供給縮小懸念により一時は急騰した国際価格も、経済の失速不安や行き場を失ったロシア産製品の中国を経由した流出等からやや落ち着きを見せております。ただ原料の輸入依存度の高い国内高炉メーカーとしては、ロシアへの経済制裁の影響や為替が急激に円安に振れた事で、原料だけでなく生産、輸送コスト増を余儀なくされており、将来のカーボンニュートラル化を見据えながらの非常に厳しい局面であると思われます。電炉メーカーにおいても、スクラップ価格は調整期により軟調ではあるものの、副資材や電力、輸送費等の構造的な諸コストの上昇を強いられており、今後の価格政策にどのような影響するのか注視が必要です。

■ステンレス■（強含み）

ニッケル系ステンレスは、強含みに推移しています。

ニッケル価格の指標となる LME ニッケル価格は、今年 3 月より続いた高騰のピーク時に比べて若干低下に転じてはいますが、依然として高値を維持しております。また、原油をはじめとするエネルギーや副原料、物流コスト等も引き続き上昇傾向にあり、各メーカーも自助努力で吸収できない部分について価格転嫁を進めていますが、すべてを転嫁できておらず、今後も値上げは続くものと思われます。加えて転嫁材料の多くを輸入に頼るステンレスは、円安の影響も少なからず出てきそうです。上記のような状況から市況は依然として強含みに推移しています。

需要面では、自動車業界をはじめとする国内需要において、部品調達難の影響がでている一方、半導体製造装置、医薬・食品関連などは堅調に推移しており、各メーカーの主要ラインはフル稼働に近い状況となっております。このような状況から引き続き一部商材では納期の長期化、品薄などの影響が見受けられ、受給のタイト感は強くなっており、今後の需要動向に注視する必要があると見られます。

■カラーコイル■（強含み）

カラーコイルの状況においては、依然として価格面での状況が厳しく推移しており月単位での価格変動が激しくなっています。日鉄鋼板㈱が国内価格を常にリードしており、6 月と 7 月も価格の底上げを図っている状況です、JFE 鋼板㈱においても 6 月～8 月で小刻みに価格の底上げを目論んでおり、国内 2 社への注視が必要となっております。

今後の価格状況によっては、建築業界の工事受注や予算組に支障が出ると思われ、国内においては計画の中止や見直しも次第に広がるものと考えられます。

カラーコイル母材では、値上げに伴う受注残も発生しており、当面の間は薄番手を主体に品薄状況が続くものと思われます。更にカラーコイルに使用する塗料などの値上げも考えられ、価格や生産面への影響が考慮されると思われます。従いまして、今後も急激な状況の変化が考えられ、強含みで推移していくと思われます。

■異形鉄筋■（強含み横這い）

異形鉄筋の市況は、ロシア・ウクライナ情勢によって世界的に鋼材や鉄スクラップの供給不安もあり、鉄スクラップ市況が急騰しましたが、5 月以降は反動安の局面が続いています。

海外向けのスクラップ価格も軟調です。

県内においては、公共工事で、災害復旧工事物件や道路維持管理工事等が出てきました。民間の建築工事については、鋼材価格・木材価格上昇の影響により延期や価格見直し物件があり、工事の発注タイミングを見極める様子見状態物件が散見されます。

現状、スクラップ以外の原料・副資材・電力料金等のコストはさらに続騰すると思われ、メーカーは製造コストの大幅アップもあり、採算是正を目指して強気の姿勢を変えていません。

流通においても、転嫁出来てない値上げを目指していますが、鉄スクラップの下落と、先行きの需給が不透明な情勢もあり、強含み横這いで推移すると思われます。

「鐵工会加工技術センター」ご利用のご案内

島根県鐵工会は島根県より支援センターの設備譲渡を受け、2022年4月1日より新たに「鐵工会加工技術センター」として事業を開始しております。

引き続き、機器研修事業、機器開放事業を主とした各種支援事業を中心として組合員企業の皆様の技術力強化に寄与することを目的とし事業を運営して参ります。



三次元 CAD/CAM システム
MasterCAM



三次元座標測定機
PRISMO Navigator 5
カールツァイス製



5 軸制御マシニングセンター D500
牧野フライス製作所製



立形マシニングセンター
YBM640V 安田工業製

設備を実際に触りながらの実践型研修を開催し、更に研修受講者向けに機器開放しておりますので、試作トライアル（実体験）にご活用いただけます。

■機器開放事業

開放機器使用料金 [1 時間当り]

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ・三次元 CAD/CAM システム (MasterCAM) | [700円] |
| ・三次元座標測定機 (PRISMO Navigator 5) | [1,000円] |
| ・5 軸制御マシニングセンター (D500) | [2,000円] |
| ・立形マシニングセンター (YBM640V) | [1,500円] |

ご利用時間：月～金（祝祭日を除く）9：00～17：00

上記以外の日、時間帯の利用もご相談に応じます。

専属の指導員によるマンツーマンでの操作指導も可能です。

■実践型研修（受講料無料）

各設置機器について操作方法習得のため実践型研修を実施。プログラムやオペレーションを習得したい方を対象に操作説明と実習を行います。

開催日程は別途お知らせいたします。

申込み・お問い合わせ先は下記のとおりです。

所 在 地：松江市矢田町250-102
松江内陸工業団地 島根県鐵工会敷地内
問い合わせ先：協同組合島根県鐵工会
TEL (0852) 24-2157

《エコ商品》 スポットクーラー Pure Drive

今回は、株式会社ブラザーエンタープライズより製造・販売されている、排熱レス&フロンレスのスポットクーラーをご紹介します。

こちらは、取り込んだ外気を、給水タンクに入れた水の気化熱を利用して 2 段階で冷却を行い、周辺の排気熱による影響をなくしているため、作業環境の改善が期待されます。また冷風風速が 14m/s と風速が大きく、遠くまでパワフルな風が届きます。風量も 3 段階切替が可能なので、様々な場所に設置して利用することも可能です。

省エネ性能にも優れており、年間のランニングコストは



サーモグラフィで 排気、周囲の温度を測定

Pure Driveは、排気、周囲の温度が上昇していないことがわかります。

吹き出し口
最大風速 **14m/s**
想定利用エリアの
暑さ指数 (WBGT) **28℃～29℃**

ランニングコスト比較

※4 ZEA132901にて年間100日(約5カ月)稼働×8h/日で試算。
電気料金：ZEA132901にて27円/kwh、水道料金：0.15円/ℓで試算。



約 5,000 円と、一般的なスポットクーラーと比べて使用電気量やランニングコストを大幅に削減でき、CO2 削減にも貢献します。またフロン不使用なので、フロン排出抑制法で定められた日常点検や冷媒廃棄にかかる費用が不要です。お買い求めやすい商品となっております。

「風が弱い・排熱が熱い・コストがかかる」などでの不満は、この Pure Drive ですべて解消できます。これから暑い時期に活躍するこの商品をぜひご検討ください。

消費電力比較

一般的なスポット
クーラー (1口タイプ)

0.87kW

Pure Drive

(共に60Hz)

0.22kW

約75%削減

一般的なスポットクーラー (1口タイプ)

年間約 19,000円

電気料金 0.87kwh×800h×27円/kwh=18,792円

Pure Drive

年間約 5,000円

電気料金 0.22kwh×800h×27円/kwh=4,752円

水道料金 15ℓ×2回×100日×0.15円/ℓ=450円

お問い合わせは (協)島根県鐵工会 工機営業部まで TEL 0852-24-2529

2022中国・四国ウェルディングフェスタのご報告

5月20日(金)コンベックス岡山において、「2022中国・四国ウェルディングフェスタ」が盛大に開催されました。大変ご多忙の中、当組合から8社、11名の方々にコロナ禍ではありますがご参加頂きました。誠にありがとうございました。今回で8回目の参加となる展示会は、溶接関連機器、消耗品等、様々な商品が展示されておりましたが、中でも人手不足を補う等様々な目的に沿った装置があり、「ファナック 協働ロボット」「ダイヘン 溶接ロボット」等の実演機がお客様の注目を集めておりました。

私自身もカタログ等ではなく、実演機を拝見し、また説明を受け、良い勉強の場となりました。今回の展示会で学んだ新製品・新技術を組合員の皆様にご提供できるよう、日々精進してまいり

ます。今後ともご支援・ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い致します。

(中部営業所/大湊俊介)



新 商 品 紹 介

XEBEC 旋盤用バリ取りブラシ

今回ご紹介する新商品は、旋盤でのバリ取りを自動化する「XEBECブラシ 旋盤用」です。

この商品は、ミーリング機能の無い旋盤でもバリ取りが可能であり、ワークを回転させながらブラシを押し当てるため穴の位相合わせ等は不要となります。公差穴バリやねじバリ等で

お困りの際は特に活躍します。

最小加工径がφ12・φ21の2種類のラインナップがございます。デモ機の無料貸出も可能ですので、ご興味のある方は工機営業部までお問い合わせください。

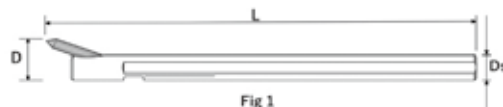
ツール構成

初回はブラシと専用ホルダをそれぞれご購入ください。
専用ホルダにブラシ本体を取付けて使用します。



ブラシ商品コード	専用ホルダ商品コード	最小加工径	挿入可能径D (mm)
A11-TB025	TM-SH-06	φ12	11以上
A11-TB06	TM-SH-12	φ21	20以上
シャंक径Ds (mm)	全長L (mm)		Fig
φ6	107		1
φ12	133		2

A11-TB025

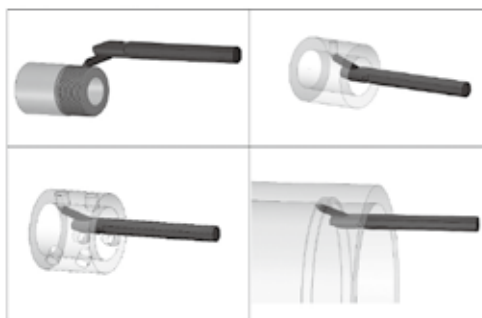


A11-TB06



使用イメージ

旋盤に取り付けて、引き加工でご利用頂きます。



お問い合わせは (協)島根県鐵工会 工機営業部まで TEL 0852-24-2529

第 44 回 2022 米子どてらい市のご報告

6月11日(土)～6月13日(月)の3日間、米子産業体育館において第44回「2022米子どてらい市」が3年ぶりに開催されました。参加メーカーは110社、主催店8社、御来場者数1,411人と、コロナ禍ではありましたが、賑わいのある展示会になりました。

多数の皆様にご来場頂き、また御成約を頂き誠にありがとうございました。



どてらい市は、工具をはじめ、機械等、普段仕事で使用するものから、家電など生活商品まで幅広く出店しており、御来場者を飽きさせない展示会となっております。

各メーカーの新商品のご提案と共に、実際に商品を手にとって見て頂ける良い機会であり、当組合も営業活動に役立てる良い勉強の場になりました。

米子どてらい市に参加し、皆様へより一層良いご提案ができるよう、メーカー、商社と協力し、日々努力してまいります。今後とも変わらぬ御支援、御愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

(出雲営業所／高橋孝輔)



ポリテクセンター島根のご紹介

こんにちは。ポリテクセンター島根です。
今回は誌面をお借りして当センターの紹介
をさせていただきます。

ポリテクセンター島根とは？

ポリテク島根

[検索](#)

厚生労働省所管の独立行政法人高齢・障害・
求職者雇用支援機構が設置・運営する公共職
業能力開発施設で、松江駅から東に 1.5km ほ
どの距離にあります。山陰本線の北側車窓か
ら写真の看板をご覧くださいませよ。



ポリテクセンター島根(外観)

人材育成のプロ集団

当機構は行政改革による法人の統廃合など
紆余曲折を経て今に至っていますが、ポリテ
クセンター島根の沿革としては、昭和 31 年
から当地で職業能力開発業務をスタートさせ
ており、昭和・平成・令和に亘って、一貫し
て職業訓練を実施しています。職業訓練とい
うと堅苦しく思われるかもしれませんが、求
職者、在職者の人材育成を行っています。

様々な支援メニュー

ポリテクセンター島根では、大きく分けて
求職者向けと在職者向けにそれぞれ職業訓練
を実施しています。

まず、離職された方や就職を希望される求
職者の再就職を支援するため、求職者向けの
ハロートレーニング(「離職者訓練」機械系、
電気系、居住系など7科)を毎月開講してい
る、実践的なものづくり人材を育成してい
ます。技術・技能を身に付けるために実技を重
視したカリキュラムを組み、毎年約 300 人の
修了生を各業界に輩出しています。

次に、在職者向けには、主にもものづくり分
野の企業を対象とした技術的な研修として、
「能力開発セミナー」を開催しています。また、
ものづくり分野に関わらず、様々な産業の課
題について、専門的な知見・ノウハウを有す
る民間の専門機関に委託して生産性向上に結
び付ける「生産性向上支援訓練」を実施して
いるほか、事業主の皆様を支援するための職
業能力の向上に係る様々なメニューをご用意
しています。

次のページで、それぞれの業務についてご
紹介します。



ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

ハロートレーニング(公的職業訓練)の
マスコットキャラクター「ハロトレくん」

○ 離職者訓練

求職中の方が再就職に必要な技術・技能を習得するための 6 か月の訓練で、7 科の訓練内容は次のとおりです。

- ①「機械 CAD オペレーション科」機械加工技術や CAD による図面作成
- ②「金属加工科」溶接や板金等
- ③「住宅リフォーム技術科」住宅リフォーム計画、施工技術、CAD による図面作成
- ④「ビル管理サービス科」ビル管理業務全般の知識、ビルクリーニング、ビルに付帯する設備管理（電気、空調、給排水）
- ⑤「電気設備技術科」電気設備の施工、保守管理、屋内配線設計、電気設備の制御
- ⑥「ICT 生産サポート科」生産設備の情報化などを目的に情報システム構築や工場内ネットワークの設計・構築
- ⑦「ビジネスワーク科」総務事務、経理事務、一般事務

訓練修了 2 か月前に、受講生の求職情報を冊子や HP 等で公開しています。訓練を受講し、技術・技能を身に付けた受講生への求人をご希望の場合は、訓練課就職支援室まで。



実習風景(金属加工科)

○ 能力開発セミナー

従業員の皆様の技術・技能の向上を目的に、機械加工、溶接、電気制御、ネットワーク構築、建築 CAD 技術等のカリキュラムを、2 日間から 3 日間の日程で実施しています。受講料はコースによって異なりますが、概ね 1 万円前後です。

また、企業や団体ニーズにお応えするため、実施内容についてご相談の上でコース設定ができるオーダーコースの実施も可能です。

従業員の技術・技能向上に関するご相談は、生産性センター業務課まで。

なお、西部地域では江津市のポリテクカレッジ島根でも開講しています。

○ 生産性向上支援訓練

生産管理やクラウド活用、組織マネジメント、マーケティングといった、様々な課題の解決や現場力の支援を強化する 125 コースのカリキュラムを用意しており、講義だけでなく演習を効果的に取り入れ、生産性向上に必要な知識、スキルを習得していただけます。

当センターであらかじめ設定したオープンコースに加え、企業ニーズに合わせてコース設定が可能な出前型のオーダーコースとしてもご利用いただけます。

募集中のオープンコース（受講料 各コースとも @3,300 円）

- ・「デジタルトランスフォーメーションの導入」 8/18（木）9：30～16：30（松江）
- ・「災害時のリスク管理と事業継続計画」 9/5（月）9：30～16：30（松江）
- ・「論理的思考とコミュ力で心に響く最強の伝え方」 9/8（木）9：30～16：30（益田）

その他コースも準備しています。詳しい内容やお申し込みは、生産性センター業務課まで。

ポリテクセンター島根 〒690-0001 島根県松江市東朝日町267

お問い合わせ先 離職者訓練(求人) ☎ 0852-31-2309

能力開発セミナー、生産性向上支援訓練 ☎ 0852-31-2828



青年部会の活動から

協同組合島根県鐵工会青年部会

【5月例会の開催】

去る5月24日(火)午後5時30分より松江テルサに於いて、青年部会5月例会を21名の参加者で開催致しました。

講演会 演題 「副業・兼業人材を活用するという選択肢」
講師 島根県プロフェッショナル人材戦略拠点
サブマネージャー 細田 尚美 氏



講師 細田尚美氏

昨今の人材・事業継承者不足の対策として、最近注目されている「副業・兼業人材」の活用を視野に入れ、各会員が必要な人員の確保ができる事を目的に講演会を企画しました。

副業・兼業人材はコロナ禍によりWEB会議システムが中小企業にも浸透してきたことから、専門人材が全国で活動ができる体制が整った事や、大企業による副業の解禁もあり、雇用(正社員)と外部委託(コンサル等)との中間の人材として、人材活用の新たな選択肢として注目

され始めました。副業者の意識も「スキルアップ、やりがい」など、「副収入」以外の目的が6割以上というアンケート結果もありました。

後半では費用面や活用事例について紹介頂きました。特別講師として青年部会OBの(株)産機 野元社長にもご登壇頂き、自社での導入経緯や実体験をお話し頂きました。各会員が「副業・兼業人材」について具体的なイメージができて、今後活用していく上で良い勉強会となりました。



(株)産機 社長 野元利幸氏



聴講風景

令和4年度(第60回)溶接技術競技会島根県大会 兼(第67回)全国溶接技術競技会島根県予選 成績及び入賞者のご報告

島根県溶接協会

去る4月24日(日)にポリテクセンター島根に於いて(第60回)溶接技術競技会が県内企業7事業所から被覆アーク溶接部門に3名、炭酸ガス半自動溶接部門に8名合計11名が参加して行われました。

外観、X線及び曲げ試験を行い総合評価の結果、下記の通り入賞者が決定致しました。

最優秀賞を受賞された両選手が島根県代表として9月24日(土)・25日(日)に青森県青森市で開催される全国溶接技術競技会にトップを目指し出場されます。

ぜひ全国に山陰の溶接技術レベルの高さを知らしめん事を期待いたします。

1. 被覆アーク溶接部門

第1位 島根県知事賞
 (一社)日本溶接協会
 中国地区溶接技術検定委員会委員長賞
 松浦 大輝 (有)福島造船鉄工所

第2位 島根県商工労働部長賞
 河合 翔太 日立金属(株)安来工場

第3位 島根県溶接協会会長賞
 原 高広 (株)コダマ

2. 炭酸ガス半自動溶接部門

最優秀賞 島根県知事賞
 (一社)日本溶接協会
 中国地区溶接技術検定委員会委員長賞
 水落 翔吾 (有)福島造船鉄工所

第2位 島根県商工労働部長賞
 成相 健太 内藤鉄工(株)

第3位 島根県溶接協会会長賞
 平塚 和行 (株)産機

大会開催にあたり、選手ならびに役員を派遣していただきました関係事業所様におかれましてはご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

2021年度（第66回）全国溶接技術競技会 中部地区三重大会のご報告

昨年度コロナ禍で延期されていましたが第66回全国溶接技術競技会が2022年4月16日(土)、17日(日)の2日間にわたり厳重なコロナ対策実施のうえで、JFEエンジニアリング(株)津製作所にて開催されました。

競技会の結果発表がありましたのでお知らせいたします。
練習の成果を発揮され見事“優秀賞”に選出されました

瀬田選手！！

おめでとうございます！！！！

(被覆アーク溶接の部)

入賞区分

優秀賞 (株)日立金属安来製作所 瀬田 翔悟 選手



被覆アーク溶接の部 瀬田翔悟選手

e-weld未登録企業様・個人様へ早急な事前登録のお願い！！

島根県溶接協会では、以前よりe-weld（web申込み）の広報に力をいれ、企業様・個人様に向けてご案内をしてまいりました。

サーベイランスは既にe-weld（web申込み）からの申込みに移行しており、各企業様より対象者の申込み手続きが順次行われている状況にあります。

また、9月試験分からは溶接技能者評価試験についてもe-weld（web申込み）からのみ受付となり、既に県内企業様から数十件申込みを受付けている状況です。

皆様のご協力により県内企業様（勤務先管理）においては、各種申込みに必要な事前登録を完了しマイページ作成まで7割程度完了しております。

マイページ作成及び適格性証明書情報の未登録の企業様、個人様におかれましては早急なご対応をよろしくお願いいたします。

引き続きスムーズな運営にご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈問い合わせ先〉

島根県溶接協会 TEL (0852) 24-2157

**呼吸用保護具の装着確認（フィットテスト）が
令和5年4月1日完全実施となる！！**

マンガン（Mn）ヒューム対策 後報・・・

フィットテストには「定性フィットテスト」と「定量フィットテスト」の2種類があります。

- ・「定性フィットテスト」は、被験者がフードをかぶり、フードの中にサッカリンなどを噴霧して、呼吸用保護具と顔面との密着性の程度が確認できます。
(想定費用 3～5万程度)

- ・「定量フィットテスト」は、専用の機器を用いて面体の中と外の粒子を計測し、呼吸用保護具と顔面との密着性の程度が確認できます。

(想定費用 100万程度)

※実施記録は3年間保存となります。

詳細につきましては、(協)島根県鐵工会 工機営業部
または島根県溶接協会へお問い合わせ下さい。

TEL 工機営業部 (0852) 24-2529

島根県溶接協会 (0852) 24-2157

関連団体通常総会報告

協同組合島根県鐵構工業会 (理事長 高橋 伸和)

協同組合島根県鐵構工業会は去る4月22日(金)、益田市ホテルサンパレス益田に於いて2022年度通常総会を開催した。

総会では提出議案がすべて承認され、事業計画として全構協中国支部会活動、教育研究事業、青年部会支援等が確認されました。

役員改選があり、理事長に高橋伸和氏(出雲鉄工(株) 代表取締役)、副理事長に藤井実氏(株志田原鉄工 代表取締役)、岡崎純二氏(建鉄工業(株) 代表取締役)、専務理事に内藤輝一氏(内藤鉄工(株) 代表取締役)が選出されました。

なお、改選された新役員の方々は次のとおりです。

理 事 長	高橋 伸和	(出雲鉄工(株))	代表取締役
副理事長	藤井 実	(株志田原鉄工)	代表取締役
〃	岡崎 純二	(建鉄工業(株))	代表取締役
専務理事	内藤 輝一	(内藤鉄工(株))	代表取締役
理 事	森広 幸吉	(三共鋼機(株))	代表取締役
〃	須田 巧	(有)丸須鐵工所	代表取締役
〃	江角 良人	(有)江角鉄工所	代表取締役
〃	勝部 聡士	(出雲鉄工(株))	取 締 役
監 事	原 弘至	(有)新川鉄工	代表取締役
〃	長谷川 健	(有)三昭技研	代表取締役

島根県銑鉄鋳物工業組合 (理事長 三好 洋平)

島根県銑鉄鋳物工業組合は去る5月19日(木)、(協)島根県鐵工会本部に於いて2022年度通常総会を開催し、2021年度事業報告、2022年度事業計画、役員改選など提出議案を原案通り承認可決されました。

任期満了に伴う役員改選の結果、理事長に三好洋平氏(ヒラタ工業(株) 代表取締役)、副理事長に蓮井良信氏(株ダイハツメタル 取締役)、常石茂樹氏(オーエム金属工業(株) 代表取締役)、専務理事に武田健司氏(東洋製鉄(株) 出雲仁多工場 工場長)が選出されました。

なお、改選された新役員の方々は次のとおりです。

理 事 長	三好 洋平	(ヒラタ工業(株))	代表取締役
副理事長	蓮井 良信	(株ダイハツメタル)	取 締 役
〃	常石 茂樹	(オーエム金属工業(株))	代表取締役
専務理事	武田 健司	(東洋製鉄(株))	代表取締役
監 事	児玉 泰州	(株コダマ)	代表取締役

松江鋼構造協同組合 (理事長 松尾 浩志)

松江鋼構造協同組合は去る5月27日(金)、(協)島根県鐵工会本部に於いて2022年度通常総会を開催し2021年度事業報告、2022年度事業計画、役員改選など提出議案を原案通り承認可決されました。事業計画では引き続き共同受注、教育研究を重点事業として取組むことが承認されました。

なお、改選された新役員の方々は次のとおりです。

理 事 長	松尾 浩志	(松和鉄工(株))	代表取締役
専務理事	児玉 泰州	(株コダマ)	代表取締役
理 事	山口 豊	(有)親共鉄工所	代表取締役
〃	福島 伸光	(有)福島造船鉄工所	代表取締役
〃	石川 澄男	(有)石川鉄工	取締役会長
監 事	藤原 資之	(株)藤原鐵工所	代表取締役

協同組合島根県鐵構工業会 青年部会 (会長 勝部 聡士)

島根県鐵構工業会青年部会は去る5月28日(土)、出雲市斐川町ホテル華満に於いて第37期の通常総会を開催し、第36期

事業報告並びに第37期事業計画が承認、決議されました。

第37期事業計画は下記3項目

1. 青年部収益事業の実施
2. 全員参加の視察研修の実施
(新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら)
3. 他団体との交流行事への参加 (〃)

また、任期満了に伴う役員改選では、会長以下すべての役員が重任となりました。

なお、改選された新役員の方々は次のとおりです。

顧 問	桑原 謙二郎	(株光技研)
会 長	勝部 聡士	(出雲鉄工(株))
副 会 長	岡崎 健悟	(建鉄工業(株))
幹 事	石川 康治	(有)石川鉄工
〃	酒井 紀行	(有)掛光鉄工
監 事	川上 晴己	(三共鋼機(株))

島根県溶接協会 (会長 福島 伸光)

島根県溶接協会は去る5月27日(金)に、(協)島根県鐵工会本部に於いて令和4年度通常総会を開催し、令和3年度事業報告、令和4年度事業計画、役員改選などの提出議案が原案通り承認可決されました。事業計画では、JIS溶接技能者評価試験の新規受験者の獲得、合格率向上へ向けた実技講習会の実施、県下実業高校へ納入されたバーチャル溶接機の活用後の実績作りのサポート等に取り組んで参ります。

監事2名の勇退に伴う役員改選があり、新監事に藤原 資之氏(株)藤原鐵工所 代表取締役)、石川 康治氏(有)石川鉄工 代表取締役)が選任されました。

なお、改選された新役員の方々は次のとおりです。

会 長	福島 伸光	(有)福島造船鉄工所	代表取締役
副 会 長	児玉 泰州	(株コダマ)	代表取締役
理 事	岸上 一郎	(日立金属(株)安来工場 工場長)	
理 事	松尾 浩志	(松和鉄工(株))	代表取締役
理 事	高橋 伸和	(出雲鉄工(株))	代表取締役
理 事	野村 吉秀	(有)隠岐酸素	代表取締役
理 事	景山 文雄	(株)太陽電機製作所	代表取締役
理 事	藤井 実	(株)志田原鉄工	代表取締役
理 事	石原 久信	(株)石原製作所	代表取締役
理 事	石原 由貴	(石原精工(株))	代表取締役
理 事	田中 和伸	(有)田中工業	代表取締役
理 事	若松 志昌	(協)島根県鐵工会	専 務 理 事

島根県板金工業組合 (理事長 天野 宏昌)

島根県板金工業組合は、去る5月26日(木)に、くびきメッセ1階小ホールに於いて令和4年度通常総会を開催し、以下の議案が原案通り、承認可決されました。

- (1) 令和3年度 事業報告 並びに 収支決算 承認の件
- (2) 令和4年度 事業計画案 並びに 収支予算案 承認の件
- (3) 其の他の件

総会終了後、石綿障害予防規則等の改正に伴い、島根労働局 労働基準部 健康安全課主任地方産業安全専門官の土江秀昭様、島根県 環境生活部 環境政策課 大気・水環境グループ主任の熱田貴史様にお越し頂き、一部改正についてご説明を頂きました。

併せて親会の総会に先立ち、同日午前11時より、同組合青年部の通常総会も同会場で開催され、令和3年度事業報告並びに収支決算承認の件、令和4年度事業計画案並びに収支予算案承認の件、その他の件等が原案通り承認可決されました。

全国建築板金業者大会へ参加

第72回全国建築板金業者静岡大会が、去る5月19日(木)に静岡県静岡市「ツインメッセ静岡」を会場として開催されました。

コロナ禍で2年間延期をされた待望の静岡大会は、感染対策に万全を期して今までにない形での大会運営となり、開催県の静岡県の皆様、全板連の皆様方には大変なご苦労をされたことと存じます。

島根県からは総勢13名で参加し、全国から1,750名を超える参加者が集う大会となりました。

島根県のご一行は、大会前日の5月18日に、出雲空港から名古屋小牧空港へ、貸し切りバスで家康公が生まれた城と言われる「岡崎城」、日本三大稲荷に数えられる「豊川稲荷」などを観光し、静岡市内のホテルにチェックイン、その後、近隣で感染対策をとりながらの夕食会となりました。



岡崎城にて記念撮影

翌19日は全板静岡大会の式典があり、午前9時にテーブルカット、式典では大会会長である天野理事長の挨拶に始まり、各県の参加者の紹介の後、表彰では当組合から平田支部の飯塚 武さん、大田支部の松浦真一さんが組合活動に尽力されたことが評価され、組合功労賞を受賞されました。



式典会場にて記念撮影



久能山東照宮にて記念撮影

今回はコロナ対策ということもあり、式典会場内は原則飲食禁止であった為、午後1時半頃に会場を出発してからの遅めの昼食となりました。日本平にて、静岡B級グルメランチセット(三島のクロquette、富士宮焼きそば、清水のもつカレー、静岡おでん)を堪能しました。

その後、日本平ロープウェイにて家康公が祭られている久能山東照宮に参拝し、その夜は、熱海温泉にて疲れを癒し、楽しい歓談のひと時を過ごしました。

最終日は、熱海の三大別邸と言われる「起雲閣」を観光し、大正・昭和浪漫を感じることができました。その後は、皆さんお楽しみの本場浜松の“うな重”に舌鼓を打ち、沢山のお土産も購入し、名古屋小牧空港から、出雲空港へと帰途に就きました。

この度はコロナ対策で面倒をお掛けしたにも拘らず、二泊三日の研修旅行を全員無事に過ごす事ができましたのも、皆様方のご協力があったこそ、と深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

なお、来年、2023年の全板大会は、東京都に於いて開催されます。多くの板金組合の組合員・並びにご家族、従業員の皆様方のご参加をお待ちしております。

また、2025年第75回大会は島根県での開催を予定しております。島根大会開催にあたり、組合員の皆様、従業員の皆様方には更なるご協力をお願い申し上げます。



激旨のうな重

こんなにあるのか郷土の遺産

⑤2 ～山城巡り 歌巡り

楽しいですよ。ハマるかも！～

島根県観光推進協議会委員
風土記を訪ねる会代表
山陰万葉を歩く会会長

川島 芙美子



荒隅城（天倫寺から布奈保社辺りまで）の遠景
（松江市より提供）

夕陽は沈む時、真っ赤に湖に映える。先日、島根県立美術館裏を散歩した時、約百人の人が三々五々、恋人同士、親子、愛犬連れ、思い思いに眺めていた。そばの喫茶店からジャズが流れ、コーヒーも飲める。

湖の向こうは、荒隅城。毛利元就が三年間、尼子戦で対峙した山城だ。

「雲州に在陣せし頃、島根という所にて

秋の月 雪にや鳴の

浜千鳥（元就）」

元就はここで次男の吉川元春に『太平記』全四十巻を写させて読み、京都から連歌仲間を招いたり、能や蹴鞠を楽しんだりした。

皆でこの夕陽もきつと見たに違いない。元就の来る直前、尼子晴久は急死してしまうが、晴久も連歌を楽しんでいる。当時の随一の連歌師、宗養をよび、皆で何度も連歌会を催している。



荒隅城（松江市南平台）の一の郭跡から北を見た眺め。
近くに白鹿城（尼子氏居城）も見える。
（松江市より提供）

安来市の富田城に登ると、尼子経久、晴久、吉川広家へと続いた富田城の大きさがわかる。まず、観光協会展示室に行き、説明を聞いてから整備された道をゆっくり登り、中国八ヶ国大守になった晴久の戦略上手と教養豊かだった人物像に思いを馳せてほしい。

「国民は めぐみあまねき

はるまちて（晴久）」



三ノ丸からの眺望
（広瀬の街並み方面）
（安来市教育委員会より提供）

富田城（安来市広瀬町）の
千畳平
（安来市教育委員会より提供）



安来市のお隣の米子城の整備も凄い。眺めも抜群。ここは吉川元春の三男、吉川広家が築城している。秀吉の朝鮮戦役へ二度も出征して手柄を挙げている。この間、広家は富田城に居住していたと考えられている。しかし、朝鮮戦役に行く前には、秀吉の勝利を祈願して大山寺の豪円和尚と十万句連歌を詠んでいる。

「日本の ひかりや四方の

今日の春（広家）」

戦国期の名だたる殆んどの大名たちは連歌を嗜んでいる。連歌を詠むには物凄く勉強が必要であつたと思われるが、連歌仲間を選び集うことは戦国期には談合的な利益もあつたようである。少し戦国大名のイメージが変わりましたか。

今、山城ブーム。山城に登る時、自然を満喫し、健康的で登った後の爽快さと眺めの良さを味わわれると思うが、そこに一味、ぜひその城の大名の歌も鑑賞しながら登られると、楽しいですよ。

現在、鳥取城も石垣の整備が進み、城内の庭園もきれいになり、その上、日本海の眺めもいい。鳥取城正面入口には吉川経家の銅像も建っている。吉川経家は鳥取城を守るために、石見の不言城から家来を連れてやって来ている。その時、死を覚悟して首桶と辞世の歌を用意している。

「武士の 取り伝えたる 梓弓

かえるやもとの 栖なるらん(経家)」

豊臣秀吉の水攻めによる飢死者をこれ以上出さないために自害したのである。



不言城の三の丸跡より
飯原、西田方面を望む
(楞嚴寺様より提供)

不言城 (大田市温泉津町)
三の丸跡
(楞嚴寺様より提供)



温泉津の不言城も良い山城である。秋には山頂でイベントもある。経家の子、経実がその後守った城である。

そこから川本町三原の丸山城に行かれることをお勧めする。早くに石見銀山の開発をした小笠原氏の根城の一つで、登り易く眺めも抜群。お土産に三原のお米とエゴマもお勧めです。



丸山城 (川本町三原) からの眺望
(川本町教育委員会より提供)

小笠原長隆も中世一番の文化人、京都の三条西実隆に山伏を派遣して自分の「百首和歌」の添削を依頼している。彼も連歌を嗜み、京都にまで教えを乞うている。

まだまだ山城は多いが、最後に尼子と毛利の決戦場になった尼子十旗の一つである高瀬城をお勧めする。高瀬城や仏経山や軍原地区までを歩かれると、両者の戦略が自ずとわかる。その時、毛利方の吉川元春は松ヶ仙城・鷹ヶ巣城・平田城(愛宕山)に陣取っていた。対岸の高瀬城を眺めながらこの三城を踏破なさるのもおもしろいでしょう。

「千代も経む 宿のしるしや
門の松(元春)」

山城巡り、歌巡りは楽しいですよ。ハマるかも！



高瀬城 (出雲市斐川町)
(深田和美様より提供)



松ヶ仙城 (出雲市多久町)
(深田和美様より提供)

② 連歌：二人以上の人が和歌の上句・下句を詠み合って楽しむ歌の形式

会員サポート推進室からのお知らせ

TEL (0852) 24-2157

前号では、「今後の会員サポート推進室の取り組み等に関するアンケート」の結果を掲載しました。

この結果を受けて現在、ご意見をいただいた会員企業様を訪問してお話を伺ったり、今後の取り組みに向けて行政機関を訪問して情報収集したりしているところです。今後は、鐵工会のHPを有効活用しながら様々な情報を提供できるように体制を構築して行きたいと考えているところです。

さて、今回は186号で掲載予告した「事業承継」の事例をご紹介します。これは、私が鐵工会業務に携わる以前に関わった案件ですので、会員サポート推進室としての事例ではありませんが、製造業の事業承継 (M&A) 事例として参考にしていただけたらと思います。

- 登場人物**
- A 譲渡者：(有)石飛鉄工所（出雲市）
 - B 譲受者：20代と30代の2人
 - C 近郊企業：石材加工業

きっかけ

A：各種機械の製造・修理を行う鉄工所で、製造は社長1人、経理を奥様が担当されていた。

社長夫妻が高齢になられ、後継者不在につき、誰かに工場（会社）を引き継いでほしいと考えていた。→銀行経由で、島根県事業承継・引継ぎ支援センター（松江商工会議所ビル内）に相談して、引継ぎ候補者探しを開始。

B：2人とも県内の同じ鉄工所に勤務し、MC等の機械加工を担当していたが、独立したい気持ちを抱き、しまね産業振興財団に相談。

経 過

- ①Bの2人は経営経験も営業経験もない状態だったため、起業するための基礎知識習得と自分達に何ができるか？何を売りにするのか？といったビジョン作りなど約半年かけて指導・アドバイス。
- ②ある程度考えが深まった頃に、引継ぎ支援センター担当者と一緒にA社へ案内し、AとBをマッチング。→話を進める方向でまとまる。
- ③以降、承継方法の提案、A社の株価評価～譲渡価格交渉、諸条件の調整等を経て譲渡契約締結。
- ④Bの2人が会社を退職し、A社で見習い作業開始。
- ⑤A社決算日翌日に株式譲渡実施。株主総会～法務局登記等を経て事業承継完了。（社名変更はなし）
- ⑥A社長夫妻は経営から外れ、顧問としてB達を指導しながら業務の引継ぎを実施。

以上の流れで、承継自体は順調に進みました。

しかし、前述のとおりBの2人は経営経験も営業経験もないので、A社の既存顧客からはある程度の受注継続が期待できるものの、B達が得意とする機械加工の受注が確保できる保証は全くありません。

そこで、当時支援していた近郊のC社の設備投資案件について、当該設備の製造をA社に依頼するよう仲介・斡旋を実施。一方、C社に対しては設備導入に対する補助金利用支援を行って、双方にメリットのある形を模索しました。

完成までには実に色々なことがありましたが、最終的には、C社には希望どおりの設備が設置され、Bの2人はA氏の指導の下、起業早々400万円以上の機械製作物件を手掛けることができました。



<C社に設置したA社製石材研磨機>

この事業承継の事例については、2021.1.12の山陰経済ウィークリーでも紹介されていますし、島根県事業承継・引継ぎ支援センターのHPでも事例紹介として動画がアップされていますので、是非視聴してみてください。

<https://smn-hktg.com/case/>



但し、これらのメディアでは、機械製作の部分については一切触れていません。

当事例は、企業を買い取る形での起業という点で好事例であることは確かですが、それに加え起業に際して営業支援まで踏み込んだことがポイントだと考えています。

会員サポート推進室は、多くの行政機関では支援が難しいと思われる営業支援も含め様々なお手伝いを致しますので、いつでも気軽にお問合せください。

コーディネーター 明石 啓孝

携 帯：080-2119-8905 Email：akashi@tekkokai.or.jp